

令和5年度 事業報告について

1. 事業概況

公的年金の支給開始年齢が段階的に65歳まで引き上げられるなどを背景に、平成25年に定年を65歳に引き上げる法整備があり、令和3年には70歳までの就業機会の確保を企業の努力義務としています。

全国的にシルバー人材センターの入会年齢が上昇し、当センターの令和5年度の平均入会年齢は、69.9歳となっています。

主力となっていた60歳代の労働力が年を追うごとに手薄になっており、従来の体力を必要とする外仕事は敬遠され、高年齢でもできる室内の仕事が求められるようになってきました。

センターは高齢者にふさわしい就業を紹介し、会員は社会参加により「生きがい」や「配分金」を得るとともに、地域社会への貢献や地域の活性化を図るというシルバー人材センターの役割は、ますます重要なものとなっています。

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の経済社会への影響等により、請負受託収益は、対前年度比16,522,203円減の356,449,587円となりました。一方で、商業施設への派遣を中心とした派遣業務受託収益は、回復傾向にあり、261,959円増の2,636,231円となりました。

結果、事業活動収支差額は、-2,726,415円になりました。10月に導入されたインボイス制度により消費税の支出額が増加したことが大きな要因となっています。

2. 会員の確保

入会説明会を毎月第1木曜日に開催しました。令和6年3月14日には担い手不足が危惧される植木職限定入会説明会を通常の入会説明会とは別に開催したところ、8名の参加者がありました。

入会説明会には年間110人が参加し、うち77人が会員となりました。

年度末会員数は、令和5年度実績で対前年度比-29人の623人でした。内訳では、男性会員比率が76.7%、女性会員比率が23.3%となり、女性会員の加入促進を進めてきましたが、女性会員比率は、対前年度比1.5%の減少となりました。

会員数の減少が顕著となり、女性会員比率も低下していることから、第3次中期計画に基づき会員の確保を推進します。

3. 就業の充実

令和5年度のセンターの就業率は、94.3%と高い水準を維持しています。

会員の高齢化等の影響により、希望する職種の範囲や就業場所等に制限が加わるようになってきたことから、高齢者に適した就業機会を確保するため、正副理事長をメンバーに加え、既存事業の維持・拡大に加え、独自事業による新規就労先の開拓など、時代に即した高齢者の働き方についての検討を始めました。

4. 安全就業の推進

安全確保は、会員が就業するうえで何よりも優先すべき課題です。

センターでは安全・適正就業委員会を設置し、年間を通じて様々な安全就業に対する取り組みを実施しました。毎月会員に配布する「安全ニュース」では、注意喚起のための事故事例のお知らせや、交通事故防止のための心得などを情報提供し、「熱中症予防講座」や「救急救命講座」、「フレイルサポーター養成講座」など、安全就業や健康づくりに役立つ各種講座を開催しました。

また、令和5年10月に、自転車ヘルメット着用の輪が地域に広まることを目的とした「自転車ヘルメット着用宣言」を埼玉県内の事業所として初めて宣言しました。

5. センター活動への参加促進

センターの目指す理想である「自主・自立、共働・共助」の基本理念の浸透を図るため「シルバーひがしまつやま」など、様々な広報の機会を捉えて周知しました。また、就業以外のセンター事業への積極的な参加を促すため「事務局からのお知らせ」を毎月配布しました。

センターの組織運営を支える最も基礎的な組織である地域班の班長会議、地区長会議、地区別懇談会を通じて、センター事業への参加を促しました。

6. 運営基盤の強化

コロナ禍の影響を受けた経済社会の回復期において、センター事業は公益社団法人としての収支相償の原則のもと、予算執行の精度を高め財政の安定化を図ることが重要です。

令和5年度は、コロナにより停滞していた活動が動き始めたことから、運営基盤の強化のため、適正な人員確保、業務分担、研修等により事務局員のスキルアップを図り、事務の効率化や事務執行体制の強化に取り組みました。

事業実績概要（令和5年4月～令和6年3月）

1. 受注件数、契約金額等

区分	会員数(人)	受注件数(件)	就業延日人員(人)	就業率	契約金額(円)
令和4年度	652	1,737	72,204	86.0%	372,971,790
令和5年度	623	1,622	65,737	87.6%	356,449,587
比較	△ 29	△ 115	△ 6,467	1.6%	△ 16,522,203
対比	95.6%	93.4%	91.0%	101.9%	95.6%

2. 入退会の状況

(単位:人)

令和5年4月1日			入会者数			退会者数			令和6年3月31日		
会員数									会員数		
男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
490	162	652	60	17	77	72	34	106	478	145	623

3. 会員の年齢構成(令和6年3月31日現在)

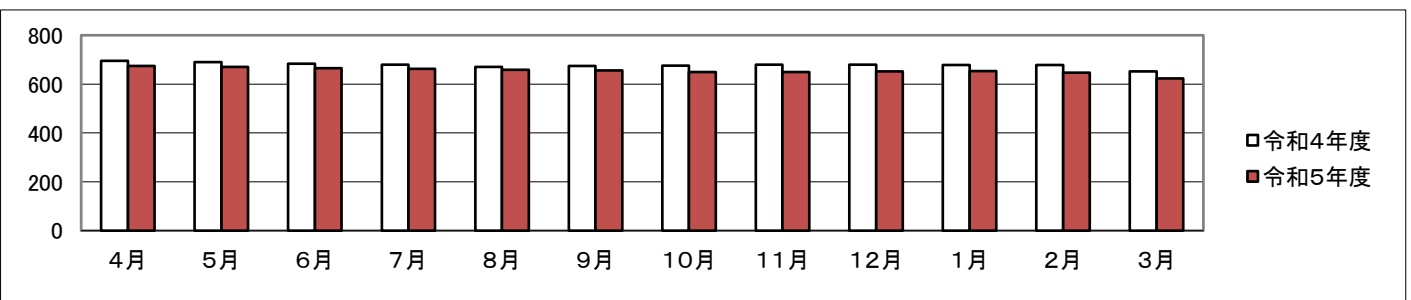
(単位:人)

	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上	計
男	6	73	179	220	478
女	6	27	56	56	145
計	12	100	235	276	623

4. 会員の登録状況

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
令和4年度	695	690	684	680	671	674	676	680	679	678	678	652
令和5年度	675	670	665	663	659	656	649	649	652	653	647	623



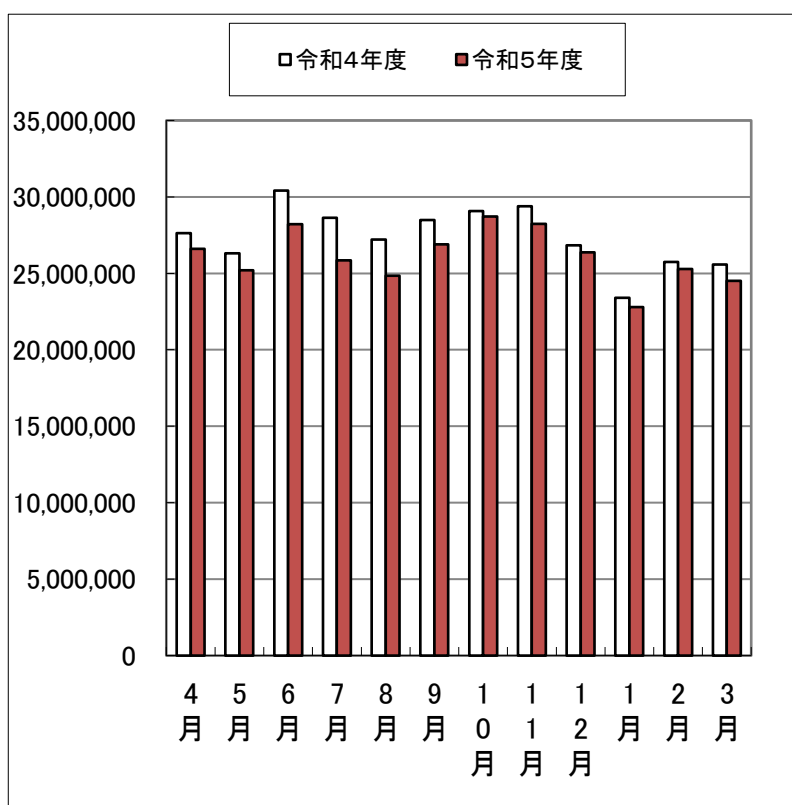
5. 受注件数・契約金額における公共・民間・個人の比率

	公 共	民 間	個 人	計
受注件数(件)	72	220	1,330	1,622
比 率	4.4%	13.6%	82.0%	100%
契約金額(円)	67,004,403	242,831,271	46,613,913	356,449,587
比 率	18.8%	68.1%	13.1%	100%

6. 月別配分金

令和4年度・令和5年度配分金の比較(単位:円)

	令和4年度	令和5年度
4月	27,634,471	26,593,678
5月	26,311,876	25,207,350
6月	30,411,604	28,218,389
7月	28,628,962	25,855,687
8月	27,214,128	24,837,099
9月	28,486,488	26,902,373
10月	29,079,183	28,714,084
11月	29,381,952	28,240,751
12月	26,834,909	26,372,494
1月	23,398,561	22,792,135
2月	25,735,983	25,277,315
3月	25,575,796	24,504,031
計	337,982,309	313,515,386



7. 契約金額

契約金額(円)	配分金額(円)	就業実人員(人)	就業延日人員(人)	1人当り配分金額(円)	1日当たり配分金額(円)
356,449,587	313,515,386	546	65,737	574,204	4,769

8. 派遣事業契約金額

契約金額(円)	会員賃金(円)	手数料等(円)	就業実人員(人)	就業延日人員(人)
33,583,371	26,425,286	7,158,085	42	6,307

9 事業、諸会議

(1) 理事会

- 第1回理事会（5月25日）
 - ・議案：総会の招集等に関する事項について他 5議案
- 第2回理事会（6月24日）
 - ・議案：専務理事の選定について
- 第3回理事会（9月24日）
 - ・議案：地域班設置要綱の一部を改定する要綱制定について他 2議案
- 第4回理事会（12月20日）
 - ・議案：総務委員会要綱の一部を改定する要綱制定について
- 第5回理事会（3月26日）
 - ・議案：令和6年度事業計画書（案）について他 5議案

(2) 令和5年度定時総会（6月24日）会場：松山市民活動センター ホール

- 出席会員117人 議決権行使書提出会員396人
- 決議事項：議案第1号 役員選任（案）の承認について
議案第2号 令和4年度 収支決算の承認について
 - 報告事項：報告第1号 令和4年度 事業報告について
報告第2号 令和5年度 事業計画書について
報告第3号 令和5年度 収支予算書について

(3) 監査について

- 決算監査（5月16日）、中間監査（11月1日）：業務監査、会計監査

(4) 各委員会

- 総務委員会
 - ・年4回開催：5月19日、9月7日、12月18日、3月19日
（委員会の職務）
 - ・三役、各委員会の長及び地区長会会長で構成する「総合調整機関」
- 就業適正化委員会
 - ・年4回開催：4月18日、10月11日、11月14日、3月12日
（委員会の職務）
 - ・会員の適正就業に関する事項を審議
 - ・公共業務就業希望者の選考
（事業の概要）
 - ・令和6年度の公共業務の公募（応募者33人）
 - ・コミュニケーション力向上研修：2月26日（参加者23人）、
3月6日（参加者20人）
- 安全 適正就業委員会
 - ・年4回開催：5月11日、7月10日、11月7日、3月21日
（委員会の職務）
 - ・会員の就業上の事故分析と事故防止対策の樹立

・会員の健康と安全（適正）就業に関する事項
（事業の概要）

- ・安全標語、ヒヤリハット募集（5月18日～10月31日）
- ・安全パトロール（7月10日）
 - i 3班で9か所を巡回訪問
 - ii 公共施設1か所、民間事業所3か所、一般家庭5か所
- ・自転車乗り方教室（10月26日）参加者 18人
- ・体力測定会（11月29日）参加者 15人
- ・安全講習会（1月23日）参加者26人

○広報委員会

（委員会の職務）

- ・広報紙（シルバーひがしまつやま第93号）9月1日発行
編集会議：5月29日、7月5日、7月27日、8月9日
- ・広報紙（シルバーひがしまつやま第94号）1月1日発行
編集会議：8月29日、10月30日、11月22日、11月30日

（5）地域班・地区長会

○班長会議

- ・年2回開催：6月7日、2月6日

○地区長会議

- ・年3回開催：5月22日、8月28日、12月22日

○地区別懇談会

- ・第二松山地区（9月30日）：参加者25人（シルバー人材センター）
- ・唐子地区（10月15日）：参加者19人（唐子市民活動センター）
- ・大岡平野地区（10月15日）：参加者28人（平野市民活動センター）
- ・野本地区（10月21日）：参加者29人（野本コミュニティセンター）
- ・高坂地区（10月21日）：参加者45人（高坂市民活動センター）
- ・第一松山地区（10月22日）：参加者33人（シルバー人材センター）

（6）入会説明会（毎月第1木曜日に開催）

植木職限定入会説明会（3月14日）

○1年間の入会者：77人（1年間の参加者：110人、入会率70.0%）

（7）新会員研修会（原則毎月第4木曜日に開催）

4月27日、5月25日、6月22日、7月27日、8月24日、
9月28日、10月26日、11月22日、12月21日、1月25日、
2月22日、3月28日

○研修テーマ：就業、地域班、安全就業、接遇マナー、親睦会